

年度 /AY	2024 年度実施
研究科 /Graduate School	人間科学研究科
課程 /Program	博士課程前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人間科学専攻
入試方式 /Admission Method	学内進学入学試験
試験科目 /Exam Subject	専門
実施日（試験日） /Exam Date	2024 年 7 月 13 日

解答又は解答例及び出題意図  
 Answer or example of answer  
 Intent of the question  
 (試験問題自体を公開しない場合はその理由)  
 (Reasons for not publishing exam questions)

1. 解答又は解答例

【A】

(1)	2.	(2)	1.	(3)	4.	(4)	2.	(5)	1.
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

(6)	4.	(7)	1.	(8)	3.	(9)	※	(10)	1.
-----	----	-----	----	-----	----	-----	---	------	----

※(9)については正しい選択肢が2つ存在していたため、受験者全員を正解といたしました。

(11)	4.	(12)	2.	(13)	3.	(14)	2.	(15)	4.
------	----	------	----	------	----	------	----	------	----

【B】

出題	解答例
ワーキングメモリ	Baddeley によって提唱された記憶モデルで、情報を一時的に保持する短期記憶としての機能に加えて計算や思考等の認知活動を行うための記憶システムとされる。
ストループ効果	色から得られる情報と意味から得られる情報など、同時に目にする情報の二つが干渉しあい、理解するまでに時間がかかる現象。アメリカの心理学者ジョン・ストループにより報告されたためこの名で呼ばれる。
Kohlberg, L.の道徳性の慣習的水準	コールバーグは、道徳性の発達を前慣習的水準、慣習的水準、慣習以後の水準からなると主張している。このうち、慣習的水準は、慣習的な秩序や法律などの社会的規範によって道徳的価値が判断される状態を意味する。

通級	小・中学校の通常の学級に在籍している比較的軽度の障害を持つ児童生徒が、通常の学級で主に各教科等の指導を受けながら、個々の特性や発達上の困難さに応じた個別的な特別支援教育も受けられる制度である。
ネガティビティ・バイアス	人はポジティブな情報よりもネガティブな情報に注意を向けやすく、記憶にも残りやすい性質を持つこと。例えば、個人の過去の記憶でも、幸福な思い出より辛い経験のほうが鮮明に記憶されやすいなど。
内田クレペリン精神検査	隣り合う1桁の数字を足す計算を1分ごとに行を変えながら行い、その結果を元に受検者の能力、性格や行動面の特徴を測る心理検査。心理検査のなかでも「作業検査法」に属する。
Pavlov, I.による条件反射の基本的考え方	生得的に特定の反応を誘発する機能を持った無条件刺激と中性刺激の対提示により、中性刺激が特定の反応を誘発する機能を獲得する過程。
研究におけるインフォームド・コンセント	研究参加者に対して、研究前に研究の目的やリスクなどの情報を説明したうえで研究参加の同意をとること。参加者の人権に配慮するための倫理的手続き。
サイコドラマ（心理劇）	モレノにより創始された集団心理療法である。監督、演者、観客、補助自我、舞台の5つの要素で構成される。即興的な演技を通じて、自己洞察や自己理解を深めたり、カタルシスを生んだり、自発性や創造性を高める。
系統的脱感作法	ウォルピが逆制止の原理に基づいて開発した技法である。筋弛緩訓練により弛緩を作り出せるようにし、不安階層表を作成して、不安の強さを測る自覚的障害単位（SUD）により質問を行う手続きを通して、不安を克服する。

## 2. 出題意図

心理学全般の基礎的知識、特に用語や概念を正しく理解しているかどうかを確認するため、心理学全般の専門用語に関する選択問題と学部1年次の心理学の授業で学ぶレベルの記述問題を出題しました。

年度 /AY	2024 年度実施
研究科 /Graduate School	人間科学研究科
課程 /Program	博士課程前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人間科学専攻
入試方式 /Admission Method	一般・社会人・社会人（協定）・APU
試験科目 /Exam Subject	小論文
実施日（試験日） /Exam Date	2024 年 9 月 14 日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question (試験問題自体を公開しない場合はその理由) (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>1. 解答又は解答例</p> <p>(1) 科学者はデータから学術的結論を導く訓練を受けているが、実生活での判断に関しては専門的な訓練がされているわけではない。論文における解釈は間違っている修正が可能だが、日常生活での誤った判断は不可逆な被害をもたらす可能性がある。科学者はデータからすぐに結論を出す傾向があり、これは学界では許されるものの、実社会では限られた主観的な判断にすぎない。そこには価値観が介在するため、議論が不可欠である。科学の世界では、実験データという事実と、そのデータから導き出される社会的提言という価値を厳密に区別する必要がある。科学は社会に影響を与える領域に入りつつあり、例えば原子力開発、遺伝子技術、気候変動などでは科学と社会のコミュニケーションが必要である。小林傳司氏によれば、科学的確率の評価は専門家間で一致しても、それを安全と見るか危険と見るかの判断は異なり、これは科学の問いを超えた「トランス・サイエンス」の領域である。</p> <p>(2) 以下、ソーシャルワーカーとしての立場から考えを述べる。科学者がデータから学術的な結論を導く一方で、実生活での判断力が不足しているという指摘は、ソーシャルワーカーとして非常に重要な視点であると考えられる。ソーシャルワーカーがクライアントの問題解決を支援する際に、科学的なデータや研究に基づく知識は非常に役立つが、それを実際の支援に応用するには慎重な判断と実践が求められる。</p> <p>ソーシャルワーカーはクライアントとの関係性を構築し、個々の状況や感情を理解しながら支援を行う。科学者が提供するデータは一般的な傾向や統計的な事実を示すが、それを個々のクライアントの状況に当てはめるには、感情や背景を考慮した柔軟な対応が必要である。例えば、貧困問題に取り組む際、経済的なデータや社会政策の研究結果は有用であるが、すべての家庭が同じ状況にあるわけではなく、個々のニーズや背景は異なる。ある家庭には経済支援が効果的であっても、別の家庭には心理的支援や教育支援が必要かもしれない。事実と価値の区別も重要である。科学的データをどのように適用するかについては柔軟で倫理的な判断が求められる。</p>	

さらに、ソーシャルワーカーとしては、科学と社会の接点を理解し、クライアントの社会的背景を考慮することも重要である。例えば、地域社会の特性や文化的背景がクライアントの生活に与える影響を理解し、適切な支援を提供するためには、科学的データだけでなく社会的な要因も考慮する必要がある。この点で、ソーシャルワーカーは科学的知識と社会的理解の橋渡し役としての役割を果たす。

最後に、「トランス・サイエンス」の概念は、ソーシャルワークにおいても有用である。科学と社会のコミュニケーションが深まることで、ソーシャルワーカーはより多くの情報と視点を得ることができ、クライアントに対してより包括的な支援を提供することができる。

## 2. 出題意図

文章を読んで正しく理解し、自分の考えを適切に表現できるかどうかをみる問題、人材育成目的やアドミッションポリシーにもとづき、本研究科にふさわしい人材として期待されるかどうかの判断の一助となる問題を出題しました。

年度 /AY	2024 年度実施
研究科 /Graduate School	人間科学研究科
課程 /Program	博士課程前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人間科学専攻
入試方式 /Admission Method	留学生
試験科目 /Exam Subject	小論文
実施日（試験日） /Exam Date	2024 年 9 月 14 日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question (試験問題自体を公開しない場合はその理由) (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>1. 解答又は解答例</p> <p>(1) 科学者はデータから学術的結論を導く訓練を受けているが、実生活での判断に関しては専門的な訓練がされているわけではない。論文における解釈は間違っている修正が可能だが、日常生活での誤った判断は不可逆な被害をもたらす可能性がある。科学者はデータからすぐに結論を出す傾向があり、これは学界では許されるものの、実社会では限られた主観的な判断にすぎない。そこには価値観が介在するため、議論が不可欠である。科学の世界では、実験データという事実と、そのデータから導き出される社会的提言という価値を厳密に区別する必要がある。科学は社会に影響を与える領域に入りつつあり、例えば原子力開発、遺伝子技術、気候変動などでは科学と社会のコミュニケーションが必要である。小林傳司氏によれば、科学的確率の評価は専門家間で一致しても、それを安全と見るか危険と見るかの判断は異なり、これは科学の問いを超えた「トランス・サイエンス」の領域である。</p> <p>(2) 科学者はデータ解析に優れている一方で、社会的な判断においては専門的な訓練を受けているわけではなく、実社会では全員が一人の素人に過ぎないという指摘にはなるほどと納得させられた。だからこそ、事実と価値を区別しなければならない。たとえば、99%安全であるという科学的データがあったとして、残りの1%をどう捉えるかは個人によって異なるだろう。ここで紹介されている「トランス・サイエンス」という概念は、興味深い。気候変動や新しい技術の導入など、現代の複雑な問題に対処するために、科学と社会が直接対話し、相互にフィードバックを行うことで、より現実的で有用な解決策を見つけることができるだろう。学問の枠を超えて、科学者だけでなく、さまざまな専門家や市民が集まって議論する場が必要である。そうすることで、より健全な社会的決定が可能になるだろうし、科学が持つ潜在的な価値を最大限に引き出すことにもつながると考える。</p>	

## 2. 出題意図

文章を読んで正しく理解し、自分の考えを適切に表現できるかどうかをみることで、日本語の読み書き能力を確認する問題を出題しました。

年度 /AY	2024 年度実施
研究科 /Graduate School	人間科学研究科
課程 /Program	博士課程前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人間科学専攻
入試方式 /Admission Method	一般・社会人・社会人（協定）・留学生・APU
試験科目 /Exam Subject	専門
実施日（試験日） /Exam Date	2024 年 9 月 14 日

解答又は解答例及び出題意図  
 Answer or example of answer  
 Intent of the question  
 (試験問題自体を公開しない場合はその理由)  
 (Reasons for not publishing exam questions)

【心理学共通】

1. 解答又は解答例

【A】

(1)	3.	(2)	2.	(3)	1.	(4)	4.	(5)	3.
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

(6)	1.	(7)	※	(8)	2.	(9)	4.	(10)	2.
-----	----	-----	---	-----	----	-----	----	------	----

※(7) 4.の選択肢に漢字の表記誤りが存在していたため、受験者全員を正解といたしました。

(11)	3.	(12)	1.	(13)	2.	(14)	3.	(15)	4.
------	----	------	----	------	----	------	----	------	----

【B】

出題	解答例
メタ認知	自分の認知過程についての認知。自己の認知状態やその過程の評価（モニタリング）、認知過程や方略の実行制御（コントロール）、認知過程に関する知識（メタ認知的知識）などがある。
手続き記憶	長期記憶の一種であり、言葉で表現することが難しく想起意識を伴わない記憶のこと。暗算や会話などの認知的なものや、水泳や運転など運動的なものがある。想起意識のない記憶であるため、潜在記憶に区分される。
成熟前傾現象	近年になるほど身長・体重などの成長速度が加速する成長加速現象とともに、思春期開始の低年齢化を意味する発達加速

	現象の1つである。具体的には、初潮や精通など、性的成熟の出現が早期化する現象である。
人生の正午	ユングは、人生の折り返し地点として、太陽の下降が始まる中年期を境に価値の転換が起こり、外部環境への適応に焦点を当てていたあり方から、自己の内的欲求や理想の実現を目指す個性化の過程にシフトするとした。
自己評価維持モデル	人はポジティブな自己評価を維持する動機づけをもち、「心理的に近い他者」「その他者が自分より能力が優れているという認知」「活動への自身の関与度」の3要素を変容しようとする、というモデル。
表示規則	Ekman, P.らが提唱した。個々の文化の構成員は、それぞれの文化が有する感情表出に関するルールを学習し、そのルールに従った形で感情を表出する、という考え。
効果の法則	ソーンダイクが主張した学習の法則。快をもたらす反応は強められ、不快をもたらす反応は弱められるというもの。
記憶実験における節約法	エビングハウスが考案した記憶の測定法。ある材料を記憶したのちに、時間をおいて再学習をする際に節約できた試行数や時間に記憶の保持が反映されていると考える。節約率として表現する。
シェーピング	新しい行動を獲得あるいは指導する方法。分化強化と消去の繰り返しによって少しずつ標的行動に近づけていく。
Caplan, G.の予防モデル	健康な人びとに対し疾病を未然に防ぐ一次予防、罹患しているが無症状期の人びとに対し早期発見・早期治療を行う二次予防、発病後安定期あるいは回復期にある人びとに対する再発予防である三次予防がある。

## 2. 出題意図

心理学全般の基礎的知識、特に用語や概念を正しく理解しているかどうかを確認するため、心理学全般の専門用語に関する選択問題と学部1年次の心理学の授業で学ぶレベルの記述問題を出題しました。

### 【心理学（心理学、心理学研究法）】

#### 1. 解答又は解答例

- (1) ランダム化比較試験とは、研究対象に対して実験群をランダムに割り当て、介入の効果を検証する手法である。この実験を対面でおこなう場合、実験者のコンピュータで発生させた乱数に基づき参加者をA群・B群・C群のいずれかに割り当てるのがふさ



わしい。

- (2) 従属変数を商品の評価、独立変数を提示される情報とした、要因数が1つ、水準が3つの分散分析をおこなう。
- (3) 実験終了後、C群となった参加者に対してデブリーフィングの時間を設け、提示された情報が虚偽情報であることを説明し、なぜ虚偽情報の提示が必要だったかを研究目的とともに説明する。説明後に、今回実験で取得したデータを研究に使用してよいかどうか改めて同意を得る。
- (4) 本研究で独立変数はランダム化比較試験の方法で統制されているので、平均的な因果関係を示していると言って良い。

## 2. 出題意図

心理学のさまざまなテーマへのアプローチにおいて必要となる科学的思考力を問う問題、実験法、観察法、調査法、検査法、面接法、コンピュータ・シミュレーションなどの心理学のさまざまな研究法について、基礎的理解を問う問題を出題しました。

### 【臨床心理学（心理療法、心理検査）】

#### 1. 解答又は解答例

1.

- ① 内田クレペリン / 内田クレペリン精神 / 内田クレペリン精神作業
- ② 作業量（の多寡）
- ③ 作業曲線 / 曲線型
- ④ ローゼンツァイク / Rosenzweig, S.
- ⑤ 自我阻害
- ⑥ 超自我阻害 \* ⑤と⑥は順序が逆でも可
- ⑦ K-ABC / K-ABC II / K-ABC 心理・教育アセスメントバッテリー / Kaufman Assessment Battery for Children

2.

「関与しながらの観察」は、アメリカの精神科医 Sullivan, H. S.が対人関与の基本姿勢として強調した概念である。観察対象が人である場合、観察者である検査者および面接者は、その場に存在することによって何らかの対人的影響を及ぼしており、また自らも観察対象から影響を受けている。対人的な場はこのような相互作用によって形成され、関与と観察は不可分であるため、観察者はその影響を認識したうえで観察する必要がある。

3.

(1) 災害や事件、事故等に直面し、個人もしくは集団がこれまでの習慣的な対処・問題解決の方法を用いても克服できない状態のこと。個人の場合は、不安、混乱、睡眠障害、食欲不振、気分の落ち込みといった精神症状や行動化が生じる場合がある。

(2) 危機介入は Lindemann, E. や Caplan, G. などの危機理論を基盤としており、危機状態にある個人もしくはコミュニティに対して、危機状態からできるだけ早く脱出できるように働きかけ、元の機能が回復するまでの支援を目的とする支援である。そのため、支援は迅速かつ短期集中的に行う必要がある。危機介入の主なステップは、(1)危機状態のアセスメント、(2)危機介入の計画策定、(3)実行と評価、修正、(4)その後のスムーズな支援につなげられるような「開かれた終結」である。

## 2. 出題意図

代表的な心理療法あるいは心理的援助に関する基礎的知識について問う問題、心理的アセスメントに関する基礎的知識について問う問題を出題しました。

### 【実践人間科学（心理学をコアとする人間科学）】

#### 1. 解答又は解答例

(問1) AI は、早く正確なアウトプットによる生産性の向上をもたらし、人手不足解消や新たな仕事を生み出す等の効果を期待することができる。一方で仕事を陳腐化させたり、アウトプットの検証が甘いと盗作の恐れがある等の課題がある。AI と上手に共存していくには、人間が AI や機械にはできないことに目を向けていく必要がある。大学においては、まずは機械がどう動くかを理解し、AI がどう動くかを理解し、ヒューマンリテラシーとして革新性や創造性、起業家精神、異文化への機敏な対応力を身につけていくような教育が肝要となる。

(問2) コーオプ教育は、大学で学んだ知識を実際の現場で使えるようにする『経験学習』として、ノースイースタン大が試みている企業への長期インターンである。これはある領域から全く別の領域に知識を移す『遠い転移』という概念で、人間は日々行っているが機械は今のところできないものである。AI がある現代では人々をロボットプルーフ(耐ロボ性)、フューチャープルーフ(耐未来性)、AI プルーフ(耐 AI 性)にすることが求められるが、そのためには生涯学習が必要で、生涯学習には長期的な評価が必要だから非営利の大学は重要な使命を持つ。

## 2. 出題意図

人間にかかわる問題を主体的に発見する力、理論と実践を相互還流させてとらえる論理展開力を捉える力を問う問題を出題しました。

年度 /AY	2024 年度実施
研究科 /Graduate School	人間科学研究科
課程 /Program	博士課程前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人間科学専攻
入試方式 /Admission Method	一般・社会人・社会人（協定）・APU
試験科目 /Exam Subject	小論文
実施日（試験日） /Exam Date	2025 年 2 月 11 日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question (試験問題自体を公開しない場合はその理由) (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>1. 解答又は解答例</p> <p>(1) まず、感冒が流行していた時期、筆者は死亡者数の増減に一喜一憂し、外出を控えるなど極度に慎重な行動をとっていた。友人や妻から臆病と笑われるほど、感染を恐れてマスクを着用し続けた。マスクを着用することで、筆者は少しでも安心感を得ようとしていた。三月に入り、寒さが和らぎ感冒の脅威が薄れると、多くの人々がマスクを外し始めたが、筆者は依然としてマスクを外さなかった。筆者はこの行動を「文明人としての勇気」として、自分を正当化し、社会的な圧力に抗う姿勢を示した。四月から五月にかけて、再度の感冒の流行が報じられたが、初夏の陽気と周囲の人々がマスクを外している状況に影響され、マスクを着用しないことを選んだ。しかし、野球観戦中にマスクを着用した青年を見かけた際、筆者は不愉快な感情と自己矛盾を感じた。この青年に対する反感は、筆者が自身の行動に対する社会的圧力と自己矛盾に悩んでいたことを反映している。</p> <p>(2) コロナ禍におけるマスクの使用は、人間の心理に多大な影響を与えた。マスクが心理的にどのような効果を持つかについて考察することは、パンデミック下での人々の行動や感情を理解する上で極めて重要である。まず、マスク着用は人々に安心感をもたらした一方で、不安やストレスも引き起こした。多くの人々にとって、マスクは感染予防のための重要なツールであり、着用することで自分や他者を守るという安心感を得ることができた。しかし、逆に、マスクを着用していないと不安や恐怖を感じることもあった。このように、マスクは人々の心に安定感を与えると同時に、不安を引き起こす二面性を持っていた。</p> <p>さらに、マスクは社会的な相互作用に大きな影響を与えた。顔の半分を覆うことで、表情が見えにくくなり、コミュニケーションが困難になった。これにより、感情の伝達が制限され、誤解やコミュニケーションの摩擦が増えることがあった。細かな表情が読み取れないため、対人関係における信頼構築が難しくなることもあった。発語や会話は減り、孤立感や疎外感を持った人も多かったことだろう。私自身も、対人関係におけるストレスが増加し、人々とのつながりを感じにくくなることがあった。</p>	

また、マスク着用に対する社会的圧力も心理的な影響を与えた。それまでマスクは風邪や花粉症など限定される場合に使用されていたものが、パンデミック下において、マスクをしないことは異常とされるようになった。社会規範が突然変わり、人々が新しい習慣をどのように受け入れ、適応していくかを観察する良い機会になった。マスクの使用によって安心感を持つ人が多かった一方で、マスクの効果に疑問を呈し、否定的影響のために批判的立場を維持する人々もいたが、社会的圧力や同調圧力は強固なものであり、人々を分断し、強いストレスを与えたと考えられる。

興味深いのは、マスクを着用することで自分の素顔を隠すことができるという心理的効果である。総じて、マスクの使用は人々の心理に複雑な影響を与えた。人間科学を学ぼうとする者として、これらの影響を総合的に理解し、今後のパンデミック対策や公衆衛生の向上に役立てることが求められると感じる。

## 2. 出題意図

文章を読んで正しく理解し、自分の考えを適切に表現できるかどうかをみる問題、人材育成目的やアドミッションポリシーにもとづき、本研究科にふさわしい人材として期待されるかどうかの判断の一助となる問題を出題しました。

年度 /AY	2024 年度実施
研究科 /Graduate School	人間科学研究科
課程 /Program	博士課程前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人間科学専攻
入試方式 /Admission Method	留学生
試験科目 /Exam Subject	小論文
実施日（試験日） /Exam Date	2025 年 2 月 11 日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question (試験問題自体を公開しない場合はその理由) (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>1. 解答又は解答例</p> <p>(1) まず、感冒が流行していた時期、筆者は死亡者数の増減に一喜一憂し、外出を控えるなど極度に慎重な行動をとっていた。友人や妻から臆病と笑われるほど、感染を恐れてマスクを着用し続けた。マスクを着用することで、筆者は少しでも安心感を得ようとしていた。三月に入り、寒さが和らぎ感冒の脅威が薄れると、多くの人々がマスクを外し始めたが、筆者は依然としてマスクを外さなかった。筆者はこの行動を「文明人としての勇気」として、自分を正当化し、社会的な圧力に抗う姿勢を示した。四月から五月にかけて、再度の感冒の流行が報じられたが、初夏の陽気と周囲の人々がマスクを外している状況に影響され、マスクを着用しないことを選んだ。しかし、野球観戦中にマスクを着用した青年を見かけた際、筆者は不愉快な感情と自己矛盾を感じた。この青年に対する反感は、筆者が自身の行動に対する社会的圧力と自己矛盾に悩んでいたことを反映している。</p> <p>(2) 筆者が他人のマスク姿を見て不快に感じた理由は三つある。第一に、マスク姿が感冒の脅威を再度思い出させたためである。流行性感冒が一旦収束し、初夏の穏やかな天候の中で安心感を覚えていた筆者にとって、黒いマスクをしている青年の姿は、その平穏を乱し、再び不安を呼び起こすものだった。第二に、自分がマスクを付けて居るときはマスクを付けて居る人に会うことが嬉しかったのに、自分が付けなくなると、マスクを付けて居る人が不快に見えるという自己本位的な心持に直面させられた。自己矛盾をつきつけられたとも言えるだろう。第三に、他人の勇気に対する自己本位的な反感のためである。筆者は、時候の影響や周囲の目を気にしてマスクを外したが、青年はその状況下でもマスクを着用し続ける勇気を持っていた。これは筆者にとって、自分が持ち得なかった強さや信念を見せつけられるようなものであり、劣等感を刺激した。</p> <p>2. 出題意図</p> <p>文章を読んで正しく理解し、自分の考えを適切に表現できるかどうかをみることで、日本語の読み書き能力を確認する問題を出题しました。</p>	

年度 /AY	2024 年度実施
研究科 /Graduate School	人間科学研究科
課程 /Program	博士課程前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人間科学専攻
入試方式 /Admission Method	一般・社会人・社会人（協定）・留学生・APU
試験科目 /Exam Subject	専門
実施日（試験日） /Exam Date	2025 年 2 月 11 日

解答又は解答例及び出題意図  
 Answer or example of answer  
 Intent of the question  
 (試験問題自体を公開しない場合はその理由)  
 (Reasons for not publishing exam questions)

**【心理学共通】**

1. 解答又は解答例

**【A】**

(1)	4.	(2)	2.	(3)	3.	(4)	3.	(5)	1.
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

(6)	4.	(7)	1.	(8)	2.	(9)	4.	(10)	2.
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	------	----

(11)	1.	(12)	3.	(13)	4.	(14)	3.	(15)	1.
------	----	------	----	------	----	------	----	------	----

**【B】**

出題	解答例
確証バイアス	ある考えや仮説を評価・検証する際に、多くの情報の中から仮説に合う事例を選択的に探したり重視したりするが、仮説に合わない事例は無視しやすい傾向。
言語相対性仮説（サピア・ウォーフの仮説）	話者が利用する言語によって思考の様式や認知の内容が変わってくるというもの。この仮説によると言語によって色の付け方が色の認識に影響を与えるといえる。
結晶性知能	キャッテルは、知能には流動性知能と結晶性知能があるとした。このうち、結晶性知能は、語彙や知識などの過去の経験により蓄積された能力を指し、流動性知能と比較して、加齢による衰退が緩やかである。

Bloom, B. S.の教育評価	ブルームは時期に応じて教育評価の概念を区別し、各方法を提唱している。すなわち、学習者の事前の準備状態に関する診断的評価、指導過程で行われる形成的評価、指導後の目的の達成状況にかかわる総括的評価である。
セルフ・ハンディキャッピング	本来なら目的のために全力を尽くす事柄に対して、自分に不利な条件を自ら作り出しておくことによって、それを失敗したときの言い訳とし、自尊心を保とうとすること。
レジリエンス	逆境に陥ったり困難に遭遇したりしても、しなやかに回復し、乗り越える力。精神的回復力とも呼ばれ、ストレスに対する強さを示す個人特性と考えられている。
実験法	参加者をランダムに複数の条件に割り当て測定することで、条件間の差（独立変数）と従属変数との因果関係を見出すための方法。
刺激閾（絶対閾）と弁別閾	刺激閾は感覚が生じるかどうかの境目の物理的刺激の値である。弁別閾は、ある刺激との差異（変化）の感覚が生じるかどうかの刺激の値のこと。
燃え尽き症候群	フロイデンバーガーによって提唱された。熱意や意欲が低下した情緒的消耗感、周囲に対して思いやりがなくなる脱人格化、個人的達成感の低下を特徴とする。過労を防ぐ個人的な対策と環境改善が重要である。
あいまいな喪失	喪失の確証のない状態である。行方不明になるなど心理的に存在しているが身体的に存在しない「さよならのない別れ」、離婚による親子の離別など、肉体はあっても心理的に失われた「別れのないさよなら」がある。

## 2. 出題意図

心理学全般の基礎的知識、特に用語や概念を正しく理解しているかどうかを確認するため、心理学全般の専門用語に関する選択問題と学部 1 年次の心理学の授業で学ぶレベルの記述問題を出题しました。

### 【心理学（心理学、心理学研究法）】

#### 1. 解答又は解答例

- (1) 本研究の実験計画は、要因数が1つ、水準がクチコミ情報あり/なしの2つの参加者内計画である。従属変数は商品の評価であり、独立変数はクチコミ情報の有無である。
- (2) クチコミ情報あり/なし条件での平均値の比較をおこなうため、対応のある  $t$  検定をおこなうのがふさわしい。

- (3)  $p$  値とは、帰無仮説が正しいと仮定したときに、観測されたデータよりも極端な値が得られる確率のことである。
- (4)  $p$  値ハッキングとは、研究結果をよく見せるために  $p$  値を何らかの形で操作する手法を指し、問題のある研究実践 (QRPs) の 1 つとされる。A さんは追加実験による参加者の追加により有意な  $p$  値を得ようとしており、 $p$  値ハッキングに該当する。これは研究倫理上問題となりうる行為である。

## 2. 出題意図

心理学のさまざまなテーマへのアプローチにおいて必要となる科学的思考力を問う問題、実験法、観察法、調査法、検査法、面接法、コンピュータ・シミュレーションなどの心理学のさまざまな研究方法について、基礎的理解を問う問題を出題しました。

### 【臨床心理学（心理療法、心理検査）】

#### 1. 解答又は解答例

- (1) テスト・バッテリーとは、心理検査において、被検者を多面的・多層的、総合的に理解するために、複数の検査を組み合わせる行うことである。個々の心理検査は被検者の一側面を査定するうえでは有効であるが、それぞれ限界があるため、テスト・バッテリーを組むことにより、補い合う必要がある。組み合わせる検査の数は、被検者の負担を減らすため、2~4 種類以内にとどめることが望ましい。組み方として、例えば被検者のパーソナリティについて、意識に近い領域から深層にわたる異なる水準を査定する場合、質問紙法、SCT、ロールシャッハ・テストを組み合わせることが考えられる。
- (2) Rogers, C. R.によると、人は経験と自己概念が不一致の状態にあるときに心理的不適応状態となり、神経症が生じる。そのためカウンセリングでは、クライアントが自己の経験に開かれ、経験と自己概念を一致させることが目指される。この自己一致がクライアントの変容の中核であり、それによって内面的変化がもたらされると考えられている。そのためにはカウンセラーが自己一致した状態にある必要がある。しかし、カウンセラーが自己不一致の状態にあるとき、たとえばクライアントの話に対して懐疑的であったり不愉快な感じを経験している一方で、理想的なカウンセラーとして共感的に理解しようとしたり肯定的に受けとめたりしようと振る舞うとき、クライアントをありのままに受容することが困難になり、結果としてクライアントの自己一致を促すことができなくなる。そのため、まずはカウンセラーがその感じ方を否定せずにありのままに受けとめることが必要である。
- (3) プレイセラピーにおける必要な制限とは、セラピストや自分自身を攻撃すること、備品やプレイルームを破壊すること等が挙げられる。制限を設ける理由としては、子どもの身体的安全を守るとともに、子どもに罪悪感を引き起こさせないため、そしてセ



ラピストが子どもを受容できるようにするためであり、それによって治療場面と現実場面の関係を保ち、治療場面が安心できる空間として機能するようになる。このような安全が保障された環境の中で、子どもは主体的に遊び、自己の内面を表現することが可能になると考えられる。

## 2. 出題意図

代表的な心理療法あるいは心理的援助に関する基礎的知識について問う問題、心理的アセスメントに関する基礎的知識について問う問題を出題しました。

### 【実践人間科学（心理学をコアとする人間科学）】

#### 1. 解答又は解答例

- (1) X やウィキペディアといったインターネット上の集合知は、多くの知識を反映することにより偏りの少ない情報にたどりつくことができるとされる点が利点となっており、近年では、誤った情報が拡散される状況への抑止力としても期待されている。
- (2) オープンな集合知の仕組みは、AI をはじめとするテクノロジーを正しく機能させる監視役として重みを増している。米国では、ある非営利団体が「AI インシデントデータベース」を立ち上げ、AI が招いた各種のトラブルを有志の力で記録・分類し、再発防止に役立てようとしているが、このような AI の発展により、SNS の集合知の集積場としての可能性は高まり、また技術の悪用も防げられると思われる。自分の SNS へのかかわりを見直す必要性を強く感じた。

#### 2. 出題意図

人間にかかわる問題を主体的に発見する力、理論と実践を相互還流させてとらえる論理展開力を捉える力を問う問題を出題しました。